

第3次読書のまち八王子推進計画 平成29年度実績及び平成30年度実施計画

計 画 内 容		所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み				取組み内容
第一章 子ども読書活動推進編					
1. 地域における読書活動の推進に向けた取組み					
① 身近な子ども関連施設や家庭での読書活動の推進	1	ブックスタート事業及び健診時における読み聞かせの実施	市が主導して、ブックスタートボランティア会員を募り、ブックスタート事業への参加を促す。ボランティアと図書館、保健福祉センターが連携し、心安らぐ子育て支援の一環として、3～4か月児、3歳児健診の場で、絵本を介した読書活動を実施する。	図書館部 ブックスタート事業 ①産婦・3～4か月児健診 市内3か所の保健福祉センターにおける産婦3～4か月児健診においてを実施し、親子の前で読み聞かせを通じて、絵本を介した読書活動を実施した。 回数：72回 受診者：3,332人 ②3歳児健診 同様に親子への読み聞かせを実施した。 回数：72回 受診者：3,780人	市内3か所の保健福祉センターで実施する産婦・3～4か月児健康診査におけるブックスタート事業及び3歳児健康診査における読み聞かせを実施する。
		子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センターにおいて募集している子育て応援団Beeネットボランティアを、図書館が実施しているブックスタート事業に紹介し支援した。	子ども家庭支援センターにおいて募集している子育て応援団Beeネットボランティアを、図書館が実施しているブックスタート事業に紹介し支援する。	
		保健福祉センター	産婦・3～4か月児健診(平成29年度受診者数；3332人)の待ち時間を活用し、ブックスタートを実施した。また、3歳児健診(平成29年度受診者数；3780人)において、読み聞かせを通じて読書活動を実施した。	産婦・3～4か月児健診、3歳児健診時の待ち時間を活用し、ブックスタート及び読み聞かせを継続実施する予定。	
	2	保育園、幼稚園等での読書活動の推進	図書館部	図書館情報を保育園・幼稚園や子ども達・保護者に広く周知するため、公立保育園16か所(うち10か所で子育て広場を実施)に図書館広報「らいぶらりい」を継続して送付した。また私立保育園・幼稚園には図書館広報「らいぶらりい」の電子データ送付を継続して実施した。また、子育てひろばにおける読み聞かせ活動について地域子ども家庭支援センター南大沢管内の子育てひろばを視察し、実情調査を行った。この結果を受け、2月から、南大沢図書館のおはなし会の情報を保護者に広く周知するために、地域子ども家庭支援センター南大沢発行の子育て地域情報に掲載を開始した。	保育園、幼稚園、子育てひろば等での読み聞かせ活動の状況を把握に努め、図書館広報「らいぶらりい」などの読書情報を届け、乳幼児期の読書活動を推進する。
			子ども家庭支援センター	子育てひろばを利用している子ども・保護者たちに対して読み聞かせを行い、読書習慣の定着を図った。	子育てひろばを利用している子ども・保護者たちに対して、読み聞かせを行い、読書習慣の定着を図る。
			児童青少年課	日常的に子育てひろばにおいて、絵本、紙芝居、大型絵本等の読み聞かせを行った。子育て講座で布絵本の読み聞かせや、簡単な絵本の工作を行った。	引き続き子育てひろばにおいて、読み聞かせ活動を行う。子育て講座の充実を図る。
			保育幼稚園課	季節に合わせた紙芝居や絵本の読み聞かせ、またボランティアによるおはなしの会を定期的実施した。	継続して保育園、子育て広場においても読み聞かせを行う。
	3	学童保育所、児童館や放課後子ども教室での、子どもの読書活動の推進	図書館部	図書館の情報を子どもや保護者に広く周知するため、学童保育所12か所・児童館41か所への図書館広報「らいぶらりい」の配布を継続して実施した。また、児童青少年課へ各施設の取り組みについて、聞き取り調査を行うとともに、横山第一小学校の放課後子ども教室の視察を行った。	児童館・学童保育所、放課後子ども教室へ、読書情報(図書館広報「らいぶらりい」など)の周知を継続して実施することにより、児童や保護者に対する読書活動を推進する。
			児童青少年課	児童館において、おはなし会等による読み聞かせを実施し計638名の参加があった。	児童館は、継続して読み聞かせ活動場所の提供に努める。
			生涯学習政策課	放課後子ども教室では、19小学校で図書室を利用し、放課後の児童の安全・安心な居場所としての役割を果たすほか、児童が図書に触れる機会を提供した。	学校と調整しながら、図書室の利用を推進していく。
	4	読書スペースや児童図書等の充実	図書館部	本のリサイクル(除籍資料の再利用)について、児童図書を市内学童・児童館13か所に413冊、小学校11校13校へ534冊603冊を優先的に配布するとともに、地域文庫3箇所にも149冊を提供した。 ・児童書の寄贈を54冊受け入れた。 ・団体貸出においては、9か所へ1,008冊を貸出した。	除籍資料の再活用として、リサイクルを行い絵本などの資料を、市内保育園や児童館などに優先して提供する。 また、家庭で役割を終えた絵本等の八王子古本まつりへの出品について、回収箱を設置するなど協力を行う。
			子ども家庭支援センター	利用者等から寄贈される絵本を施設で活用した。また、保護者向けに育児書の貸出しを行った。	利用者等から寄贈される絵本を施設で活用する。 また、保護者向けに育児書の貸出しを行う。
児童青少年課			児童館図書室において、日常的に図書の整理整頓、貸出し等を行った。	引き続き児童館図書、絵本、育児書等の充実を図り環境整備に努める。	
保育幼稚園課			年齢に応じた絵本や図鑑を取りそろえ、子ども達がいつでも楽しむことができる環境を提供した。また卒園児や地域住民から寄贈された絵本を活用した。	継続して、絵本や図鑑を取りそろえ、寄贈された絵本等を活用する。	

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画
No.	具体的な取組み	取組み内容			
① 身近な子ども関連施設や家庭での読書活動の推進	親子に対する、図書の貸出しや情報の提供	保護者の育児支援のために、身近な子ども関連施設で、年齢に応じた絵本や育児書の紹介や貸出しなどにより、親子が家庭で本に親しむことができる機会をつくる。また園庭開放等で保育園や幼稚園を訪れる在宅子育て家庭に対し、絵本や育児書の貸出しや読み聞かせ講座を開催する。	図書館部	保健福祉センターで配付する育児パッケージに、リーフレット『おうちで絵本を楽しんでみませんか?』を入れ、図書館で行うおはなし会の日程やおすすめ絵本の紹介をすることで親子が本に親しむきっかけづくりを行った。	市内の子育て施設での読書活動推進状況調査を踏まえ、図書館情報や各施設の情報発信の推進の情報を各施設に発信し、保護者の育児支援や親子が家庭で絵本などを読む機会を増やす支援を進める。 保健福祉センターで配付する育児パッケージに図書館に関する情報を加え、読書活動推進を図る。
			子ども家庭支援センター	子育て広場に育児書等を配備し、親子ふれあい広場や親子つどいの広場では貸出しを行った。	子育て広場に育児書等を配備し、親子ふれあい広場や親子つどいの広場では貸出しを行う。
			児童青少年課	子育てひろばを実施している児童館10館において、乳幼児親子への絵本の読み聞かせを実施した。	継続して子育てひろば専用スペースがある児童館10館において、絵本の読み聞かせを実施する。
			保育幼稚園課	週1回の絵本の貸し出しを行い、親子が家庭で本に親しむ機会の推進を図った。子育てひろばを利用する在宅子育て家庭にも育児書等の貸し出しを行った。	継続して保育園、子育てひろばにおいても読み聞かせを行う。
			子どものしあわせ課	子育て情報モバイルサイト「はち☆ベビ」のメールマガジン「すくすく☆メール」10月号において、読書週間のお知らせや、図書館が薦める読み聞かせ用の絵本を紹介した。(配信数 4,631件)	平成29年度同様に情報配信するほか、親子向けの図書館イベント等についてもメールマガジン等を通じて紹介し、親子で絵本に親しむ機会の提供に努める。
② 子どもの読書活動に関わる人材の育成・支援・連携	地区図書室、地域文庫の蔵書充実や広報支援	地区図書室や地域文庫、地域子ども家庭支援センターへの希望図書の貸出しなど、関連所管が連携して、児童図書等の蔵書を充実させるための支援を行い、身近な場所での子どもの読書活動の推進を図る。また、これら施設の活動を図書館ホームページで紹介するなど広報活動を支援する。	図書館部	16か所の地区図書室に対して、希望図書の聞き取りを行い2,800冊を購入、配布した。希望図書を含めた総団体貸出冊数は178,605冊となり、蔵書の充実を図ることができた。 地区図書室の「としょかんこどもまつり」のイベントをHPやチラシで周知した。 本のリサイクル(除籍資料の再利用)について、地域文庫3箇所にも149冊を提供した。	引き続き、各地区図書室や地域文庫と連携を密にして蔵書の充実を支援する。 PR施策について、地域文庫との協議を行う。
			協働推進課ふれあい財団	学園都市文化ふれあい財団のホームページに地区図書室の利用方法およびイベント情報を一部掲載した。	学園都市文化ふれあい財団のホームページを活用し、地区図書室の開室時間やイベント情報等を引き続き掲載する。
			子ども家庭支援センター	引き続き図書館と連携し、身近に絵本を借りられる環境整備に努めた。	引き続き図書館と連携し、身近に絵本を借りられる環境を整える。
	子育てサークルや読み聞かせボランティアへの活動支援	ホームページ等で団体の紹介を行い、読み聞かせを希望する団体との橋渡しを行うなど、サークルやボランティアが活動しやすい環境を整備する。また、サークルやボランティア向け講座の開催や、相互の情報交換の場を設け、ボランティアの活動を支援する。	図書館部	・各図書館において、ボランティア団体によるおはなし会を開催するなど、活動の場を提供した。 ・図書館まつりでは、ボランティア団体がワークショップを開催し、読み聞かせ等のボランティア団体の活躍の場及び参加団体相互の情報交換の場を設け、活動を支援した。 ・新しくなったホームページにボランティアのページを設け、各団体の活動内容について紹介できるように準備を行った。 八王子お話の会と共催で、語り手を増やすための講座「お話を覚えて語る講座(連続全3回)」を実施。20名の参加があった。	図書館広報「らいぶらりい」で、ボランティア団体などの活動内容を紹介する。また、図書館まつりにおけるボランティア団体のワークショップを実施し、ボランティア活動を支援する。 ボランティア団体主催の「読み聞かせのレベルアップ講演会」等の開催を支援する。また、語り手を増やすための講座をボランティア団体との共催で行う。 ボランティア団体主催の読み聞かせのレベルアップ講演会等の開催を支援する。語り手を増やすための講座をボランティア団体との共催で行う。
			子ども家庭支援センター	図書館と連携し、ブックスタート事業に子育て応援団Beeネットボランティアを派遣した。	図書館と連携し、ブックスタート事業に子育て応援団Beeネットボランティアを派遣する。
	保育士や保護者への読み聞かせ講座等の実施	保育士や子育てひろば従事者等を対象とした研修プログラムの中に、読み聞かせ研修などを組み入れ、読書活動のレベルアップを図る。また、読み聞かせの手法を保護者にも伝え、家庭での読み聞かせにつなげる。	図書館部	読み聞かせ出前講座については、児童館や小学校、高校などで4回(4か所)実施、受講者は合計109名。	出前講座等を継続実施するとともに、読み聞かせ講習の充実と読書活動のレベルアップを図るため、保育幼稚園課などの年間講習スケジュールに組み込むことができるか検討する。
			保育幼稚園課	保育参加や参観時に行う読み聞かせの手法を保護者に伝え家庭での読み聞かせの推進を図った。	引き続き読み聞かせの必要性や手法を保護者に伝える機会を継続していく。
			子ども家庭支援センター	子育て広場での絵本の読み聞かせ講座を通して、保護者に向けて読み聞かせの方法を伝えた。	子育て広場での絵本の読み聞かせ講座を通して、保護者に向けて読み聞かせの方法を伝える。
③ 情報発信と啓発活動	子ども読書週間での啓発活動	子ども読書週間には、図書館で実施している「としょかんこどもまつり」だけではなく、各関連所管においても読書活動に関する様々な事業を実施することで、市全体で読書に親しむ気運を盛り上げる。	図書館部	子ども読書週間にちなみ、4月21・22日に「こどもととしょかんまつり」を4館で開催し、おはなし会・工作会リサイクル本の配布(508冊)、バルーンアートづくりなどを実施し、4館のまつり全体で315名の参加があった。 また、地区図書室で子ども読書週間関連事業として冠をつけた企画が実施されるように調整を図り、6か所で実施した。	子ども読書週間には、図書館で実施している「としょかんこどもまつり」のほか、地区図書室など各関連所管においても読書活動に関する様々な事業を実施するよう連携し、子ども読書週間関連事業として冠をつけた企画が実施されるように調整を図る。
	リーフレットの作成などによる情報周知	読み聞かせの意義、重要性を盛り込んだリーフレットや、おすすめ絵本等のリストなどを作成し、親子が読書に親しめる情報を、保育園や幼稚園など親子が利用する場所で配布する。また、母子手帳の配布の機会を利用し、図書館利用の促進に結び付けるための資料等を配布する。	図書館部	3~4か月児健診でのブックスタートにおいて、図書館利用案内やおすすめ本のリーフレット「赤ちゃんが楽しむ絵本」を配布した(配布数3,534部)。3歳児健診時にリーフレット「おうちで絵本を楽しんでみませんか?」の配布を通じて、図書館で行うおはなし会の日程紹介やおすすめ絵本の紹介を行った(配布数3,847部)。 市内公立小学校4年生全員にリーフレット「図書館で調べものをしてみよう!」を配布し、夏休み中の調べ学習について図書館利用をうながした。 図書館員が選んだおすすめ本を紹介する冊子「図書館員がおすすめする本(仮称)」の作成を開始した。	既存の図書館情報発信を継続し読書活動の推進を図る。また、既存の情報発信の内容についてもよりわかりやすく発信する。 図書館員が選んだおすすめ本を紹介する冊子「図書館員がおすすめする本(仮称)」を作成し、学校図書館・保育園・学童保育所への配布や図書館ホームページでの掲載など、広く周知を行う。
	ホームページによる読書活動やイベント情報の発信	市のホームページに「子ども読書活動」のページを作成し、市内の子ども読書活動情報、イベントなどの情報発信や啓発活動を実施する。	図書館部	図書館システム更新に伴いホームページのデザインを新しくし、子どものページや、子ども読書活動、イベント情報などのメニューをわかりやすくした。	リニューアルしたホームページを積極的に活用し、引き続き、子ども読書活動の情報や各種イベント等の情報を積極的に発信し周知を図る。

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み	取組み内容				
2. 学校における読書活動の推進に向けた取組み						
① 学校図書館を中心とした読書活動の推進	12	学校図書館サポート事業の拡充	学校図書館サポートセンターの体制および機能の充実を図り、学校司書の全校への派遣を進めるとともに、研修体制や学校への支援体制を強化する。また、図書館システムのデータベースの活用を図り、学校図書館に係ることの調査・研究を行う。	図書館部	学校図書館サポートセンターを通じて、学校図書館の蔵書管理方法についての相談など、学校図書館への支援を行った。 図書館として、調べ学習や学級文庫用資料を555冊購入し学校貸出用資料を充実させた。	学校司書等への研修に図書館司書を派遣するなど、支援を継続して実施する。 学校司書と連絡会等情報交換を行うことで、図書館との連携を密にする。 公立図書館における調べ学習や学級文庫用の資料を充実させる。 学校図書館サポートセンターとの連携を図り、31年4月稼働予定の学校図書館システムの構築を進める。
		指導課	児童・生徒の読む力を高め、豊かな心を育むため、図書館部と連携を図りながら、学校図書館の機能が活かせるよう、学校図書館システムの導入に向け、学校と情報を共有した。	学校図書館の活用に向け、支援体制を強化していくとともに、学校図書館システムの構築を行う。		
	13	学校図書館の授業への計画的活用	「学校図書館活用全体計画」「学校図書館活用年間指導計画」に基づき、全教員が共通の理解をもって授業の中で学校図書館を計画的に活用できるようにするとともに、具体的な活用方法が分かるよう「学校図書館活用マニュアル」を作成し、児童・生徒の主体的な調べ学習や読書活動の充実を図る。	指導課	「調べる学習ガイド」のほか、「学校図書館活用マニュアル」を作成・配布し、児童・生徒の学校図書館を活用した調べる学習や読書活動の推進を図った。	「学校図書館活用マニュアル」や「調べる学習ガイド」を有効活用し、児童・生徒の主体的な調べ学習や読書活動の充実を図っていく。
		14	児童・生徒の活発な読書活動の推進	学級における朝読書の推進、小学校での高学年による低学年への読み聞かせ、図書委員会活動の充実など、学校における読書環境整備を進め、児童・生徒自身による読書活動を推進していく。	指導課	学校における読書活動や探求学習の更なる推進を図るため、調べるコンクールを開催し優秀な作品内容をホームページで周知した。
	15	学校図書館の蔵書の充実	学校図書館を児童・生徒の主体的な学習活動を支援する「学習・情報センター」として機能させるため、各学校で計画的に蔵書整備を行う。	指導課	「学習・情報センター」として機能を高めるため、古い内容や破損が激しい図書の廃棄を進め、不足している分野の図書を購入するなど計画的に蔵書管理を行った。	学校司書への研修や情報提供を行い、学校図書館の蔵書の充実を図っていく。
				施設管理課	学校整備額（図書購入費） 小学校 23,972,283円 中学校 11,893,438円	学校配当予定額（図書購入費） 小学校 24,356,000円 中学校 12,385,000円
16	特別な支援が必要な児童・生徒への読書活動の推進	特別な支援を必要とする児童・生徒への理解を深め、障害の状態に応じた選書やICTの活用環境の工夫を図るなど、公共図書館と連携して読書活動支援の推進を図る。	教育支援課	障害により、特別な支援を必要とする児童・生徒に対して、iPadや拡大読書器等のICTを活用することで、読書活動への支援を行った。	第三次特別支援教育推進計画に基づき、支援を必要とする児童・生徒に対して、障害の状態に応じた環境の工夫等を行うことで、読書活動支援の推進を図る。	
② 子どもの読書活動に関わる人材の育成・支援・連携	17	研修の充実	図書館部	連絡会を実施し情報交換を行うとともに、学校図書館サポートセンターが実施した「学校司書研修・連絡会」に参加し、「学校貸出利用案内」を配布、学校貸出についてPRを行った。	連絡会で情報交換を行うとともに、教員等への研修について、学校図書館サポートセンターと連携を図り支援を行う。 学校図書館システム導入にあたり、学校図書館サポートセンターと連携し、教員等への研修を行う。	
			指導課	司書教諭・学校司書への研修等を行い、児童・生徒への学習活動や読書活動の充実を図った。	学校図書館を活用した学習が計画的に行えるよう、各種研修を実施し、図書館部との連携を図り、学習活動や読書活動の充実を図っていく。	
	18	学校図書館ボランティアの充実と活動支援	図書館部	学校図書館サポートセンター主催の研修において、図書館が支援できる内容の依頼がなく未実施	学校図書館サポートセンターと連携を図り、学校図書館サポートセンター主催の研修で、読み聞かせ等の講義を通じ、ボランティアの活動を支援する体制を整える。	
			指導課	児童・生徒が自ら読書に親しめるような環境を整備するため、学校図書館で活動しているボランティアの資質向上につながるような研修を充実させた。	学校図書館ボランティアに対する研修、実技講習の充実を図り、学校図書館ボランティアの活動を支援していく。	
19	地域の連携による学校図書館の活用	地域、PTA、ボランティア団体等の協力を得て、児童・生徒が本に親しむきっかけづくりや読書習慣を身に付けることを目的として、地域の子どもや保護者、学童保育所や放課後子ども教室が学校図書館を利用できる機会を作る。	児童青少年課	継続して子育てひろば専用スペースがある児童館10館において、絵本の読み聞かせを実施する。	継続して学校図書館の利用拡大に努め、読書活動の推進を図る。	
			生涯学習政策課	放課後子ども教室では、保護者や地域の協力を得て、10校で読み聞かせを実施した。	保護者や地域の協力を得て、読み聞かせなどを継続し、本に親しむ環境を作っていく。	

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み	取組み内容				
③ 情報発信と啓発活動	20	教員への情報発信と啓発活動	図書館部	学校教諭・学校司書連絡会において、図書館の学校貸出用資料の利用方法の案内を配布するなど、教員・学校司書への図書館利用等への情報発信を行った。また、利用方法については図書館ホームページ内の学校支援専用ページにも掲載し、学校貸出用資料の活用を促した。 平成30年4月の図書館システム更新時における学校専用ページのリニューアルのため、より利用しやすいページ内容を構築した。	学校教員と学校司書に、図書館の学校貸出用資料の利用方法の案内を配布・説明するなど、教員と学校司書への図書館利用等への情報発信をすすめる。図書館ホームページ内の学校支援専用ページについて、学校貸出用資料の提供や調べ学習援助等、情報提供の充実を図っていく。	
				指導課	公益財団法人図書館振興財団作成のDVD及び入賞作品複製の貸出を行い、調べる学習の推進を図った。また広報紙「としょえもん」を発行し、調べる学習コンクールの開催状況について、情報を提供した。	小中学校における読書活動の取組み事例・指導事例を集約して、発信・共有化を推進していく。
	21	児童・生徒、保護者への情報発信と啓発活動	図書館部	夏休みに向け、小中学生向けのおすすめ本を図書館職員が選定し、おすすめ本リストとして各図書館に配備した。また、このリストを市内全小中学校に配布すると共に、図書館ホームページに掲載した。 市内公立小学校4年生全員にリーフレット「図書館で調べものをしてみよう！」を配布し、児童とその保護者に、図書館における調べ学習について情報発信した。	リーフレット「図書館で調べものをしてみよう！」を図書館内で配布すると共に、市内の公立小学校4年生に配布し、図書館での調べ学習について、児童とその保護者に情報発信していく。	
				指導課	市制100周年を記念して、厳選した図書を100冊紹介する「おすすめ本の特集リスト」を作成し、児童・生徒の読書活動の推進を図った。本や資料を通じて物事を調べる習慣を、子どもの時期から身に付けることの重要性を伝えるため、講演会を開催した。また、広報紙「としょえもん」を発行し、啓発に努めた。	広報紙「としょえもん」の発行、学校司書からのおすすめ本リストをホームページに公開する。また、調べる学習コンクールを開催し、調べる学習及び読書活動の啓発に努めていく。
	3. 公共図書館における読書活動の推進に向けた取組み					
	① 図書館における読書環境整備や企画事業による読書活動の推進	22	年代に応じた児童図書の充実と探しやすいコーナーの整備	図書館部	児童書など年代に応じた図書の購入を図ると共に、YAコーナーの資料配置を変更した。 こどもとしょかんまつりや、中学生職場体験などにおいて、児童生徒が読みたいおすすめ本を参加者にポップを書いてもらい、館内に掲示した。	児童書など年代に応じた図書の購入を図ると共に、各館の状況に応じて児童コーナーなどで探しやすい本の配置を行う。 「としょかんこどもまつり」や、中学生職場体験などにおいて、児童・生徒が推薦する本を参加者にポップ等を書いてもらい、館内に掲示する。
23					子どもの図書館体験活動への参加の拡充	一日図書館員や職場体験、ボランティアなど、子どもが図書館を実体験する中で、図書館への理解と利用促進を図る。 4月に子ども読書の日にかけて「こどもとしょかんまつり」を実施し、中央図書館で小学生向けに図書館たんけんたいを1回（参加者9名）実施した。 また、夏休み期間に、図書館4館において、一日図書館員（12回102名）、中学生ボランティア（4回12名）、としょかんたんけんたい（2回43名）、手づくり絵本の作成（4回105名）などの企画を実施した。 さらに、年間を通じて、図書館5館で中学生の職場体験（37校124名）を受け入れ、図書館での体験活動を実施した。 中学生が参加しやすい企画を検討し、図書館まつりで中学生を対象にレファレンス講座を開催した。（参加者6名）
24		おはなし会等親子が参加できる事業の実施	図書館部	幼児や児童などが図書館に興味を持てるようなイベントを各図書館で実施した。 ・定期的なおはなし会や季節ごとのイベントをホームページや広報はちおうじで利用者に周知を図った。 ①おはなし会：中央館（32回218名）生涯館（15回293名）川口館（15回603名）南大沢館（37回699名） ②としょかんこどもまつり（4月22・23日全館418名）おはなし会、工作会など ③クリスマス会（工作会含む）4回 99名	定期的なおはなし会や季節ごとのイベントを継続的に実施するとともに、ホームページ等により効果的に保護者への周知を図る。 子どもや保護者が興味を持ち、参加できる企画について検討する。	
				25	体験型イベントの実施	読書感想の発表や意見交換ができるようなイベントを開催することにより、子どもが自分の読書活動の中で得たものを実感し、他者と共有していくことができるような、子ども自身が参加、体験できる企画事業を実施する。 読書感想画・感想文コンクールを開催し、読書を通じて子どもが表現できるような事業を開催した。応募数（読書感想画1,037点 読書感想文：4,028点）
26		図書館利用に特別な支援が必要な子ども等への読書活動支援	発達段階、障害に応じた資料の整備を行い、来館時における図書館利用や調べ学習の援助を実施する。また、手話おはなし会などの事業も継続的に実施する。 日本語を第一言語としない子どものための資料の整備と支援を実施する。 聴覚障害のある児童を対象とした「手話しゅわおはなし会」を3回開催し、43人（うち子ども20名）の参加があった。 知的障害や発達障害のある子どもたちのために、写真や絵、短い文章などで構成された絵本「LLブック※」を収集した（※「LL」とはスウェーデン語で「やさしく読みやすい」を意味する言葉の略）	コミュニケーション手段が手話である子どもへの読書活動支援として「手話しゅわおはなし会」を開催し、図書館や本に親しむきっかけを作るようにする。 児童向け「LLブック」については積極的に収集し、提供していく。		

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み	取組み内容				
② 子どもの読書活動に関わる人材の育成・支援・連携	27	児童サービス担当職員等のレベルアップ	職員の研修への参加や担当職員間の情報交換、文庫活動等との交流により、最新の子どもの読書活動の情報や、子どもたちのニーズの把握に努めるとともに、読み聞かせ等の技術向上を図り、職員としてのレベルアップを図る。	図書館部	①都立図書館主催の研修や図書館大会などでの講演会、また図書館総合展などに職員・嘱託員を派遣し、児童担当職員のレベルアップを図った。 ・都立図書館主催児童図書館専門研修、東京都多摩地域公立図書館大会（基調講演・分科会）、図書館総合展ほか ②図書館でお話を開催している「八王子おはなしの会」とおはなし会開催時に意見交換を行い、レベルアップを図った。	職員の研修への参加や各自治体担当職員間の情報交換、文庫活動等との交流により、最新の子どもの読書活動の情報や、子どもたちのニーズの把握に努めるとともに、読み聞かせ等の技術向上を図り、職員としてのレベルアップを図る。
	28	ボランティアの育成と活動支援	研修、講座などを通して読み聞かせボランティア等の育成を図る。また、相互に情報交換を図り、学びの成果を活かし、ボランティアがおはなし会等や事業に積極的に関わってもらえるよう活動支援を行う。	図書館部	ブックスタートボランティア対象に学習会を実施し、2回の講習会に25名が参加した。（わらべ歌の効能・実演のしかた） 図書館として図書館ボランティアの募集は、前年度の応募者が多かったため更新のみを行った。	研修、講座などを通して読み聞かせボランティア等の育成を図る。 相互に情報交換を図り、学びの成果を活かし、ボランティアがおはなし会等や事業に積極的に関わってもらえるよう活動支援を行う。 図書館として新たに図書館ボランティアを募集する。 職員の研修への参加や担当職員間の情報交換、文庫活動等との交流により、最新の子どもの読書活動情報や、子どもたちのニーズの把握に努めるとともに、読み聞かせ等の技術向上を図り、職員としてのレベルアップを図る。
	29	市民団体等との連携・支援	子どもの読書活動に関わるサークルや団体が、活発に地域で活動できるよう協力体制の整備や、情報交換の場の提供など、支援を行う。	図書館部	子どもの読書活動に関わる団体の活動を支援した ①「夏休み 手づくりの絵本を作ろう」計4回 105名 ②「手づくり本展」1回 出品数198点 来場者728名 いずれも「八王子市手づくり絵本の会」と共催	引き続き、情報交換や各種イベントへ参加してもらい協力体制の整備や活動支援を行う
	30	学校支援サービスの充実	教科指導のテーマに沿った図書資料を収集し提供する。子どもレファレンスシート作成や、子どもたちへの調べ学習支援を行うとともに、教員研修の受け入れや、図書館利用方法の講座、ブックトークなどを実施する。	図書館部 指導課	学校図書館サポートセンターと連絡会を行い、情報交換を行った。 学校図書館サポートセンター主催の調べ学習講座で、図書館利用の案内を行った。第七中学校でのブックトークを行った（134名参加） 学校配送便の貸出資料の充実と貸出体制の強化（嘱託員1名増）による大幅な貸出増加ができた（貸出冊数：32,994冊前年度比9%減）。	学校図書館サポートセンターとの連絡会で情報交換を行うとともに、調べ学習講座等について、学校図書館サポートセンターと連携し支援を行う。 学校図書館サポートセンターの各種講座への参加やブックトークを行う。 引き続き学校配送便の回数を週1回にし利用しやすくするとともに、調べ学習用資料の充実を図る
③ 情報発信と啓発活動	31	イベントやコンクール等開催による読書活動の啓発	子ども読書の日や図書館まつりでの取組み、コンクール等の実施を通して、読書への関心や理解を深める。	図書館部	春の「としよかんこどもまつり」、秋の「図書館まつり」、夏休み中の小中学生向けイベントのほか、「読書感想画・感想文コンクール」を実施し、児童・生徒の読書への関心を深める活動を行った。 読書感想画・感想文コンクールの入賞作品や八王子市ジュニア国際交流フレンド台湾訪問団の様子を掲載した。 読書感想文・読書感想画コンクールの入賞作品を掲載するとともに、各種イベント等の様子を積極的に公開し、市民への情報提供を行った	子ども読書の日や図書館まつりでの取組み、コンクール等の実施を通して、読書への関心や理解を深める。 各イベントの情報を、図書館ホームページ、市ホームページのイベント欄に掲載し情報発信する。
	32	図書館ホームページ、子どものページの充実	図書館ホームページ内の子どものページを中心に、イベント情報やおすすめ本リストの掲載など充実を図る。また、中高生の図書館利用促進のため、十代の若者向け情報のページを新設をする。	図書館部	平成30年4月のシステム更新時に子どものホームページのデザインを新しくし、イベント情報のカレンダーやおすすめの本のリストを掲載した。 中高生の利用促進を図るよう、新しいホームページで10代向けのページを作成した。	図書館ホームページに子どものイベント情報やおすすめ本のリストを掲載し、周知に努める。 また、新システムのなかで子どものページの充実に向けて検討を進める
	33	図書リストや啓発リーフレットの作成・配布	調べ学習に役立つ図書やおすすめ本リストや啓発リーフレットを作成し配布。読書離れや図書館利用が少ない中高生向けにもおすすめ本リストも作成し配布する。	図書館部	中央図書館調べ学習室で所蔵しているおすすめの本を掲載したリーフレット「調べ学習室 調べものに役立つ本」を配布した。 小学生を対象にした読書ノートを作成し各館の窓口で配布し、児童の読書活動を啓発した。 読書ノート 小学校低学年用 500冊 高学年用 500冊 「2017南大沢図書館員が選んだイチオチBON」として、主に中高校生へのおすすめするブックリストや、小中学生対象の「夏のおすすめ」のリストを作成配布した。	引き続き読書ノートを増刷し児童への読書活動の啓発を行う。 小中学生向けのおすすめ本リストを作成し、中学生からのおすすめの本の冊子化を各館と調整を行う。 リーフレットに新しく受け入れた資料を載せるなど最新の内容となるよう検討する。
	34	図書館利用者登録の増進	図書館の利用促進を図るため、新たに市内全小学生の一定学年で利用者カードを配布する。また、中高生向けに利用者カード更新制度についての周知を行うなどし、継続的な図書館利用を促す。	図書館部	図書館での夏のイベント等への参加や施設見学に来館した小中学生に利用者登録を呼びかけた。 図書館と同一地域にある小学校を中心に、児童の利用登録を学校と協力して行った。 小学校との連携を確立している途中であり、中学校・高校への周知には至っていないが、中学生・高校生の職場体験は積極的に受け入れ、担当教諭へ児童・生徒の図書館利用促進を働きかけた。	引き続き、地域にある小学校と協力しながら、児童の利用登録を促進させる。 また、市内中学校・高校に対し、八王子市図書館利用案内を各校の図書室に置いてもらえるよう依頼するなど生徒への周知を図る

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み	取組み内容				
第二章 生涯読書活動編						
1. 地域における読書活動の推進に向けた取組み						
① 地区図書館の充実及びサービス向上への推進	35	地区図書館からの情報発信	地区図書館の活動状況を、広く市民に知ってもらうため、新たに各地区図書館の利用方法やイベント等の情報発信をふれあい財団等のホームページ等で周知する。	図書館部	学園都市文化ふれあい財団と調整し、八王子市図書館ホームページ内の地区図書室案内のページと、ふれあい財団のホームページ内の地区図書室のページをリンクづけた	新たしくなった八王子市図書館のホームページにおいて、地区図書室の活動やイベント等の情報を発信できる仕組みを構築できないか、ふれあい財団と調整を行う。 八王子市図書館ホームページの地区図書室案内のページと八王子市学園都市文化ふれあい財団のホームページ内の地区図書室案内のページをリンクさせることにより、地区図書室の活動を支援するため、ふれあい財団と調整を行う。
		協働推進課 ふれあい財団	学園都市文化ふれあい財団のホームページに地区図書室の開設時間およびイベント情報も一部掲載した。	地区図書室の活動状況を広く市民に周知するため、学園都市文化ふれあい財団のホームページを活用し、地区図書室の開室時間やイベント情報等を引き続き掲載する。		
	36	地区図書館の利便性向上	地域にあった蔵書の充実、本の検索や貸出サービスの向上を図ると共に地区図書館の情報共有と交流を行いながら地域にあったサービス提供を実施する。特に開室日時の拡充など積極的にサービスの充実に取り組む地区図書室に対しては、蔵書をパソコンで管理するシステムの導入や物流体制の強化を行う。	図書館部	各地区図書館からの要望を踏まえた希望図書を年間2,371冊配布した。 週2回中央図書館と各地区図書館を結ぶ交換便を実施するとともに、エクセルによる蔵書管理を継続して実施した。	希望図書については年間3,000冊の配布を予定。また、10月にはリサイクル本を配布する。 週2回中央図書館と各地区図書館を結ぶ交換便を実施するとともに、エクセルによる蔵書管理を継続して実施する。
				協働推進課 ふれあい財団	各地区図書館の選書に基づき、中央図書館から児童書等の新刊書の配本を受けた。また、中央図書館からの図書の団体貸出しを受け、5月・9月及び12月に図書の補充を行った。 所蔵数201,116冊	各地区図書館の選書に基づき、中央図書館から児童書等の新刊書の配本を受ける。 中央図書館の団体貸出しを年3回受け、図書の入れ替えを行う。 中央図書館のリサイクル本により地区図書館の蔵書を引き続き充実させる。
	37	地区図書館従事者のスキルアップ	企画事業のアドバイスや研修会・講習会を定期的継続的に実施する。	図書館部	全地区図書館従事者を対象とした研修会（工作）を実施した。	ふれあい財団と調整し、30年度中に全地区図書館従事者を対象とした研修会を実施する。
				協働推進課 ふれあい財団	9月12日（火）に地区図書館代表者による連絡会を開催、中央図書館との意見交換の場を設けた。また、3月27日（火）には、中央図書館との共催による地区図書館運営委員を対象とした研修会を実施した。	中央図書館と共催し、地区図書館運営担当者対象の研修を実施する。また、地区図書館代表者会議を開催し、中央図書館と意見交換の場を設ける。
② 地区図書館の分館化	38	地区図書館の図書館分室化の推進	図書館部	分室化基本計画及びアクションプラン実施計画を策定した。 関係所管の担当者とは相互に情報交換を行いながら調整を図った。また、ふれあい財団と調整し、住民協議会に対し、住民協議会会長会議をはじめ計画において初年度開設予定となっていた恩方、石川、由木中央それぞれの住民協議会に対して計画の説明を行い了承を得た。	10月1日の恩方市民センター図書館の開館に向け準備、調整を行う。 図書館化計画については引き続き検討し、アクションプラン実施計画の作成及び住民協議会をはじめ、関係所管、団体との調整を行う。	
			協働推進課 ふれあい財団	平成30年度恩方市民センターの図書館化に向けて中央図書館と調整・協議を行った。	恩方市民センター図書館の10月開館に向けて、恩方地区住民協議会および中央図書館と調整・協議を行う。また、30年度以降の計画について、中央図書館と調整・協議を行う。	
2. 学校における読書活動の推進に向けた取組み						
① 市内大学と公共図書館との連携	39	大学図書館の利用機会の充実	公共図書館と市内大学図書館との連携を強化し、市民に大学図書館の利用情報等を提供する。また読書サービスを提供する場所の1つとして、市民の大学図書館利用の拡大・充実に図り、普段目にすることが少ない専門書に触れる機会を提供する。	図書館部	大学コンソーシアム八王子に登録のある17大学の情報を図書館ホームページに掲載し、各大学図書館とのホームページ上でのリンクができるよう整備を行った。 中央大学と協定書を締結し、平成29年7月1日から読書活動推進のための共同研究を行い、1月に中間報告会を実施した。 また帝京大学との連携により市内小学校においてビブリオバトルの大会を開催した。	引き続き、市内大学図書館における地域資料の充実に協力するほか、市民にも大学図書館の一般利用を広く周知させる。 中央大学との共同研究について6月に研究報告会を実施する。また、市民の読書環境向上を目的とした調査研究等を引き続き行うため、調査期間の延長を行う。 帝京大学と連携しビブリオバトルを開催する。
		大学生等の受入	図書館が行う事業に、学生が企画立案から参加する仕組みと職業体験が出来る環境を整え、キャリア教育の一環となるよう大学生等を受け入れる。	図書館部	市内在住大学生の申し出による、自作の紙しばい上演を平成29年度こどもまつりで実現できるよう企画したが、応募はなかった。 南大沢図書館で2名・川口図書館で1名、館内整理作業のため大学生ボランティアを受け入れた。	今後も、大学コンソーシアムと連携し、職業教育につながる内容で学生ボランティアを受け入れるため、イベント情報の提供などを行う。 図書館事業に学生が企画から主体となって取り組めるような仕組みを検討するとともに、学生のアイデアは積極的に実現できる方向で模索する。

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み	取組み内容				
3. 公共図書館における読書活動の推進に向けた取組み						
① 市民の学習活動・課題解決への支援	41	図書館からの多様な情報発信	八王子市に関連のある著名人のおすすめ本のリストなどを作成し、ホームページ等で紹介する。また、図書館の魅力や可能性をアピールする講座を開催する。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館まつりにおいて、図書館の資料を使った調べもの講座、ビブリオバトルなどを実施した。 市制100周年記念事業として作家を招いての講演会を開催した。(生涯) ①図書館ホームページにおすすめ本としてテーマリストや八王子関連の本のリストや、「八王子100年応援団が選ぶ3冊」のリストを掲載した。 ②図書館まつりを10月21日～11月5日開催 ワークショップや講演会テーマ展示を行い図書館活動をPRをした。来場者3,200名を超えた。 ・講演会：阿部智里さん「読書の世界とファンタジー」 ・テーマ展示(全館実施)：「本の中の八王子を訪ねて」 ・「100年応援団が選ぶ3冊」 ・図書、雑誌リサイクル ・図書館いろいろ体験などを実施。 ③図書館4館において、各々児童テーマ展示や男女共同参画週間や終戦記念日、人権週間等、時節にあったテーマ展示を実施した。 	<p>行政と連携したテーマ展示の実施など、図書館の魅力や可能性を発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書館まつりで、図書のリサイクル、秋の朗読会、共通テーマ展示、「図書館いろいろ体験」などを実施し、図書館にかかわる各種関連団体の活動を広く紹介する。 ①図書館ホームページにテーマ展示のリストを各館でも掲載していく。 ②八王子市関連のある著名人などを検討し本の紹介をしてもらう。 ③今年度も図書館まつりなどで図書館の魅力や可能性をPRする。 ④各図書館で特徴あるテーマ展示を定期的に行う。 ⑤各図書館で行うテーマ展示以外に、市役所の各所管と連携して行う「課題解決型テーマ展示」を行う。
	42	市民の求めに応じた情報提供	生涯にわたって学ぶ市民が、身近な問題で疑問を感じた際に必要な情報を提供し、手助けする課題解決サービスの充実を図る。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 常設の課題解決型展示として、「健康情報コーナー」を中央図書館に継続して設置し、パンフレットなどもあわせて配布した。レファレンス・サービスも常時受け付けた。 課題解決型のテーマ展示として、「認知症を知る」のテーマ展示を関係所管と連携し実施した。 	<p>中央図書館での「健康情報コーナー」の常設、全館でのレファレンス・サービスを引き続き継続する。</p> <p>また、各館で行うテーマ展示に課題解決型のテーマを選ぶことで、サービスの拡充を図る</p>
	43	地域連携のサービス拡大	八王子市が広域連携を結んでいる自治体図書館の市民利用の促進を図るために利用情報の提供に努めると共に、八王子市民が連携市の市民と同等の条件で本の貸出や調べもの支援サービスを受けられるよう改善を図る。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 京王線沿線7市連携会議において、八王子市民がよりよいサービスを受けられる様、各連携市に働きかけた。 	<p>相互利用サービスの向上を図るとともに、連携自治体の拡大について、多摩26市館長会等で提案する。</p>
	44	読書環境のPR	市民が利用できる公共図書館・地区図書室・大学等の図書館マップを新たに作成し、市の関連施設や企画事業等で配布し利用促進を図る。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 大学コンソーシアム八王子に登録のある17大学の情報を図書館ホームページに掲載し、各大学図書館とのホームページ上でのリンクができるよう整備を行った。 今後の図書館整備に合わせ、マップ内容について検討を行うこととした。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民への大学図書館の一般利用の周知及び、大学・地区図書室等と協力し、市民の読書環境充実を図る。ホームページによる各大学との相互リンクによる情報提供を行う。 子育てサポートマップや京王線七市連携ガイドブックなど図書館関連施設が掲載されたマップ類を図書館まつり、おはなし会等の企画事業で積極的にPRする。 今後の図書館整備に合わせ市民ニーズに応じたマップ内容を検討する。
② ICTを活用したサービスの展開	45	利用しやすい図書館システムの導入	次期システム更新時に、市民が利用しやすい機能をもった図書館システムの導入を目指す。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館システム更新に合わせ、ホームページや子どものページを刷新し、公開に向け準備を行った。 読書記録機能や電子書籍などの新たなサービスやマイナンバーカードによる貸出を始められるようシステムの構築を行った 	<ul style="list-style-type: none"> さらに、市民にとって利用しやすいシステムを目指す。
	46	電子情報の提供	図書館に来館しなくても図書の貸出が受けられる電子書籍の導入を目指す。また、市民から寄せられた調査・調べ物の結果をデータベース化しホームページ上に公開する。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館システム更新に合わせ、電子書籍サービスを30年4月2日から開始した。 市民から寄せられた調査・調べ物の結果として「レファレンス・サービス事例」を多数受けたものから精査の上、15件ホームページ上に公開し(今まで掲載したものと合わせて130件となった)、どのような調べ物があったかを気軽にみる事ができるようにした。 デジタルアーカイブについては著作権の課題についての整理を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子書籍のコンテンツを紹介する特集ページをアップするなど、電子書籍の魅力を発信するとともに電子書籍コンテンツの充実と、電子書籍サービスの利用促進を図る。 「レファレンス・サービス事例」を精査しホームページに掲載する。 所蔵資料の電子化をしたデジタルアーカイブについては、候補となる資料をリストアップし、その中から著作権の処理が終わったものから電子化に取り組む。
③ ユニバーサルデザインに基づく読書環境づくり	47	障害のある人や高齢者への支援	障害のある人や高齢者が利用しやすいようにサービス(対面朗読や手話のお話会など)の一覧をのせたページを図書館ホームページに作成する。また、高齢者施設への出張図書館サービスを本格実施するとともに、寝たきりの方が利用される宅配サービスを充実させ利用者の拡大を図る。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 図書館システムの更新に合わせてホームページに障害者・高齢者サービスについてまとめて紹介するページを作成し、公開に向けて準備を行った。 出張図書館の本活実施に向け、課題を整理し、予算要求を行った。試行による出張図書館を4施設で実施した。(14回訪問、2,278冊を貸出、朗読会参加者 228人) 宅配サービス <ul style="list-style-type: none"> 4館で20名に、182回実施、837冊を貸出 対面朗読 <ul style="list-style-type: none"> 4館で24名に、263回実施 高齢者向け紙芝居を含むリストの作成・配布を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページにおける障害者・高齢者サービスのページについては、読み上げソフトで読みづらいところがあれば修正するなど微調整を行っていく。 出張図書館は、専任の司書嘱託職員を1名配置した。今後は、対象施設の拡大などのサービスの充実を図る。 宅配サービス・対面朗読等のサービスを実施する。利用者も少ないことから、PRを強化していく。
	48	資料の充実	目の不自由な方への資料提供としてデージー(DAISY)の充実を目指す。障害者や高齢者の方の読書環境充実のため、拡大字本や文字の大きさを自由に換えられる電子書籍の導入を目指す。図書館で所蔵するユニバーサルデザインに関連する資料については、ホームページに資料の一覧を掲載し周知する。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 八王子関連のデージーは、八王子の花柳界を描いた『芸者衆に花束を。』ほか1点制作した。 拡大字本(大活字本)については、全館で84冊受け入れた。 電子書籍については、平成30年4月の導入に向けて3,295点の選書を購入し、文字の大きさを換えられたり、読上げに対応したリフローコンテンツの資料として購入分合わせ5,219点用意し、30年4月の電子書籍サービス提供開始に向け準備を行った。 	<p>目の不自由な方への資料提供としてデージーの充実を目指すほか、障害者や高齢者といった図書館利用に障害のある方の読書環境を充実させるため、拡大字本や電子書籍の収集を行う。</p>
	49	多文化サービスの展開	日本語の読書が困難な外国人に、日本語以外で書かれた原書によるテーマ展示などを行うとともに、資料の一覧や多言語の利用案内をホームページに掲載する。また外国語(当面は英語のみ)の話せる職員を配置しサービスを展開する。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の図書館利用案内を作成し各館での配布を行った。 図書館システム更新に合わせ、ホームページの多言語対応を行った。 外国語のテーマ展示として、「Space」「Wriezen」「Read more Books」「Japan」「Autumn」を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の資料の充実を図り、外国語のテーマ展示も引き続き行う。 必要に応じて、外国語の図書館利用案内の改訂版を作成し、改訂内容のホームページへの掲載を行う。

計 画 内 容			所管部名	平成29年度 実績	平成30年度 実施計画	
No.	具体的な取組み	取組み内容				
④ ボラン ティア ・市民 団体 など 地域 との 連携	50	ボランティア団体や市民団体の育成	本の修理や講師派遣など、学校等から要望の多い項目について、図書館が学校とボランティア団体や市民団体との間に入り、必要とする市民団体を紹介するコーディネートの役割を果たす。また、ボランティア団体と市民団体の育成とスキルアップを支援する。	図書館部	今年度は依頼がなかったため未実施。 学校等から講師派遣依頼等があった場合は、ボランティア団体、市民団体と連携を取り、講師を派遣する。	
	51	ボランティア団体活動への支援と市民協働	ボランティア団体を紹介するページをホームページに作成し、ボランティア活動を支援する。また、市民の目線からのテーマ展示や図書館事業における市民協働の充実を図る。	図書館部	平成30年4月の図書館システム更新にむけて、視覚に障害がある方に対する読書支援を行っている各種ボランティア団体の紹介や個人として図書館の修理や配架、読み聞かせ、宅配などを行っている活動について紹介するページをホームページ上に構築した。	図書館ホームページ内に図書館の本と人を結びつける活動を続けている各ボランティアの方々の活動内容や活動中の写真を掲載するなど、紹介ページを構築し、ボランティア活動の支援を継続して行う。
⑤ 専門 職員 の資 質向 上	52	専門職のスキルアップ	図書館機能の1つであるレファレンスサービスを市民に周知し、市民から寄せられる課題に柔軟に対応できるよう、司書資格を有する職員のレファレンス力強化に向け、研修制度の整備と充実を図る。	図書館部	レファレンス・サービスの周知のため、今までに受けたレファレンス事例の中から精査して15件をホームページに掲載した。 「法律情報」「東京情報」など都立図書館主催の研修等に参加し、図書館員のレファレンス力の強化に努めた。	レファレンス事例を図書館ホームページに掲載し、レファレンス・サービスをより多くの市民にご利用いただけるよう市民に周知するとともに、市民から寄せられる課題に柔軟に対応できるよう、司書資格を有する職員のレファレンス力強化に向け、研修制度の整備と充実を図る。
⑥ 質の 高い 蔵書 の充 実	53	蔵書の充実	市民の課題解決や、暮らしに役立つ資料を適切に提供する役割を担う図書館として、質の高い蔵書の充実を図り、長期的な蔵書の保存計画を作成する。	図書館部	市民からのリクエスト等を参考にしつつ、「八王子市図書館資料収集方針」に基づき、市民の課題解決や暮らしに役立つ資料を系統だてて適切な収集に努めた。その結果、蔵書数は、市全体で164万6千冊（対前年度比1万冊増）となった。また、一方で資料の精査を行い、資料の質を高めた。	市民の課題解決や、暮らしに役立つ資料を適切に提供する役割を担う図書館として、適切な資料収集に努め、電子書籍も含め、質の高い蔵書の充実を図る。 また、課題となっている蔵書の保存計画については、検討を継続する。
⑦ 図書 館利 用の サポ ート	54	施設・設備の改善	中央図書館地下展示室の活用方法を整理し、市民への有意義な図書館サービスの展開が可能となるよう検討を進める。また、館内表示が日本語表記のみのため、施設整備を行う際には外国語表記の案内版などを設置し、グローバル化を図る。	図書館部	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館の外壁の塗装を行った。 中央図書館地下展示室の有効活用とともに、市民の新たなニーズに対応を含めた大規模改修の方向性について検討した。 老朽化が激しかった生涯学習センター図書館3階図書閲覧コーナーの椅子座面の貼り替えや、2階児童書コーナーにテーマ展示用の書架を新しく増設した。 児童のイベント用に紙芝居用の舞台を購入した。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館地下展示室の有効活用とともに、市民の新たなニーズに対応を含めた大規模改修の方向性、さらに他の図書館施設の整備のあり方も含め図書館施設整備計画を検討する。 図書館内の英語表記について見直し、表記がない館については作成を検討する。また英語以外の表記についても検討する。 閲覧環境(椅子・机等)が老朽化しており、まだすべては完了していないため、館内整理の閉館時等に修理できるよう、計画的に予算を確保してゆく。 市の保全計画に基づき、老朽化した中央図書館の利用者用エレベーターと防火シャッターの修繕を行う。